

市町名 長泉町

地域学校協働本部	
放課後子供教室等(学習支援・体験活動)	
家庭教育支援	
その他(通学合宿等)	○



実施開始年度 平成 17 年度

立ち上げ経緯

地域の教育力向上事業の一環として実施。校区を超えた子どもたちの交流と、地域住民の交流の場をつくり、地域の大人たちによる企画・運営を推進することで、地域全体で子どもを育む環境の整備や体制づくりを進める。

活動名	長泉わんぱく通学合宿			
実施箇所名	コミュニティながいずみ(コミュニティセンター)			
活動の概要・特徴・工夫	目的	異年齢間の子どもたちの交流の促進、共同生活の場の設定、地域の人材育成		
	開催日数等	1泊2日	実施場所	会議室・ホール・展示室等
	参加児童・生徒数	20~30人	ボランティア数	17人
	<p>&lt;概要・特徴&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティながいずみを拠点に、4年生~6年生までの年齢の異なる子ども達が2泊3日の共同生活をしながら、登下校する。</li> <li>・6人の生活班・係りを作り、児童に役割分担を与える。また、各班に専属のボランティアスタッフが付き、児童をリードしたり、見守ったりする形式が引き継がれている。</li> <li>・PTAや社会教育委員を含めた地域のボランティアが企画・運営を行っている。</li> </ul> <p>&lt;活動上の工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアは支援可能な時間帯に限られるため、入れ替わり、交代をしながら合宿を行っている。</li> <li>・令和4年度については、感染症対策として通学を伴わない1泊2日の防災合宿を実施し、参加者はジュニア防災士養成講座を受講した。また、従前の調理実習を回避し防災食の試食、防災テント設営、就寝するなど、災害時における避難所体験ができる合宿となった。</li> </ul>			
	連携先	地域学校協働本部実行委員会・スクールガード等		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全小学校区(3校区)に募集をかけるため、校区を超えて児童同士、また、地区ボランティアとの親睦を図ることができる。</li> <li>・児童の活動を支援する立場で集まった地域の大人たちにも、苦労はあるものの、児童と同様の効果や満足感が得られている。</li> </ul>			
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の新型コロナウイルス感染症への対策を講じた開催方法の検討が必要である。</li> <li>・ボランティア人材の確保が困難である。受け継がれてきた合宿の精神を守りつつ、無理の無い運営方法を模索する時期だと考えている。</li> </ul>			
備考				
参考URL				

市町名 島田市

地域学校協働本部	
放課後子供教室等(学習支援・体験活動)	
家庭教育支援	
その他(通学合宿等)	○



実施開始年度 平成 20 年度

立ち上げ経緯

平成20年度より島田市社会教育課が事務局となり実施。平成25年度からは大津農村環境改善センターに事務局を移行し実施している。

活動名	大津っ子通学合宿			
実施場所名	大津農村環境改善センター			
活動の概要・特徴・工夫	目的	地域の人材育成 等		
	開催日数等	1泊2日	実施場所	地域の畑 等
	参加児童・生徒数	16 人	ボランティア数	10 人
	<p>&lt;概要・特徴&gt;</p> <p>例年は2泊3日の通学合宿を開催してきたが、コロナ禍であることを考慮して今年度は1泊2日で開催。活動の中では「さつまいも堀り体験」といった自然体験も取り入れている。</p> <p>&lt;活動上の工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で活動が制限される中ではあったが、料理の盛り付けや布団の用意、施設清掃等で自主性を育んだ。</li> <li>・感染対策として、食事については2部屋に分かれて黙食で行った。また、読み聞かせについては、館内放送で実施した。</li> </ul>			
	連携先	自治会、社会福祉協議会、小学校、幼稚園、保育園、読み聞かせボランティア等		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異学年と共に協力し寝食することで、協調性、社会性を育んだ。</li> <li>・子供たちと地元の方の交流を通じて、地域で結びつき、子供を育てる意識が高まった。</li> </ul>			
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の補助が制限されることとなり、活動内容の見直しが必要となる。</li> <li>・ボランティアの確保に苦慮することが多く、安定して確保できる体制の構築が必要である。</li> </ul>			
備考				
参考URL				

市町名 島田市

地域学校協働本部	
放課後子供教室等(学習支援・体験活動)	
家庭教育支援	
その他(通学合宿等)	○



実施開始年度 平成 18 年度

立ち上げ経緯 平成18年度に学校とPTA役員にて通学合宿のための実行委員会が組織されたが、該当の小学校が廃校となり、現在は地元の団体が事業運営を引き継いでいる。

活動名	湯日地区世代交流事業(昔の遊び体験)			
実施場所名	原の平公民館(養明寺)			
活動の概要・特徴・工夫	目的	地域の人材育成 等		
	開催日数等	1泊2日	実施場所	お寺
	参加児童・生徒数	40 人	ボランティア数	10 人
	<p>&lt;概要・特徴&gt;</p> <p>平成18年度より通学合宿事業を実施してきた湯日小学校が閉校となり、地元の団体「湯日の子どもたちを見守る会」が運営を引き継いでいる。今年度は湯日地区の未就学児から中学生までの幅広い児童を対象に事業を実施した。</p> <p>&lt;活動上の工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間性や社会性を育むため、未就学児から高齢の方まで幅広い年代の交流に努める。</li> <li>・昔の遊び体験では、ゴムカンなどの道具作りから児童に体験してもらい、創造性を育む。</li> </ul>			
	連携先	地元の団体、保護者		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や地元でのイベントがコロナ禍で制限を受けながらの開催であったが、児童がプログラムを楽しむと共に、幅広い年代が行動を共にして交流の輪を広げた。</li> <li>・普段ふれることの無い昔の遊び体験を通じて、自身で創作して遊ぶ楽しさを学んでいた。</li> </ul>			
課題等	活動に対して協力してくれる人はいるものの、現状では人手不足を感じている。また、スタッフの高齢化に伴い、保護者を主体とした運営に移行をしているが、中心となって活動を牽引する後継者が決まっていない。			
備考				
参考URL				

市町名 掛川市

地域学校協働本部	
放課後子供教室等(学習支援・体験活動)	
家庭教育支援	
その他(通学合宿等)	○



実施開始年度 平成 14 年度

立ち上げ経緯 『ここに来れば必ず誰かがいて一緒に遊べる』という場所の提供を行うため。

活動名	どようひろば			
実施箇所名	葛ヶ丘会館			
活動の概要・特徴・工夫	目的	休日の居場所づくり、異世代交流		
	開催日数等	31日 (R3年度実績)	実施場所	葛ヶ丘会館 葛ヶ丘公園
	参加児童・生徒数 (延べ)	393 人	ボランティア数	3 人
	<p>&lt;概要・特徴&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週土曜日の午前中に開催。</li> <li>教室では、読み聞かせ、布ボール遊び、積み木、手芸、簡単な工作、室内ゲーム等を行う。また、豆まきやお花見等季節的な行事や、伝統的な事柄を伝達する。</li> <li>対象者は主に小学生だが、そのきょうだいの幼稚園、中学生も参加している。</li> <li>教卒が終わったら、役割を決めて、児童自身が片付けを行う。</li> </ul> <p>&lt;活動上の工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの「やってみたい」を尊重し、自分の意思を大切にする活動を行っている。</li> <li>季節の行事を楽しむことで、子どもたちに四季の美しさを味わってもらったり、日本の伝統を体験してもらおう。</li> </ul>			
	連携先			
活動の成果	・異学年の交流ができています。			
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当ボランティアが限られてきている。</li> <li>参加児童が固定化してきている。</li> </ul>			
備考				
参考URL	<a href="http://city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/8981.html">city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/8981.html</a>			

市町名 牧之原市

地域学校協働本部	
放課後子供教室等(学習支援・体験活動)	
家庭教育支援	
その他(通学合宿等)	○



実施開始年度 平成 17 年度

立ち上げ経緯 平成17年度に市町村合併をしたためそれ以前のデータが無く、正式な開始年度と経緯は不明。

活動名	子どもまきのはら塾 4～6年生体験学習			
実施箇所名	萩間川、相良港 他			
活動の概要・特徴・工夫	目的	市内の河川や海での自然体験活動を通して、親子や友人同士の交流を深めること。また、いろいろな体験をすることで記憶に残る思い出を作ること。		
	開催日数等	年18回(月1～3回)	実施場所	市内河川、港等
	参加児童・生徒数	8名	ボランティア数	なし
	<p>&lt;概要・特徴&gt;</p> <p>子どもたちが、休日における充実した学習機会を提供する方策の一つとして、地域の大人が講師となりさまざまな体験をすることにより、子どもたちにとってより豊かで有意義な休日の過ごし方を実現することを目的とし、毎年「子どもまきのはら塾」を開講している。その中で「4～6年生体験学習」は、市内小学校の高学年生徒を対象に、魚釣りや磯遊び、化石発掘などの自然体験活動を行っている。</p> <p>&lt;活動上の工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動に使う釣り竿などの道具を貸出し、道具の無い子どもでも参加しやすくしている。</li> </ul>			
	連携先			
活動の成果	1年の活動を通じて地元の自然について学ぶことができるとともに、参加した児童、保護者、指導員と、幅広い年齢層の交流に寄与している。			
課題等	・コロナ禍の影響もあり、参加者が減少している。			
備考				

参考URL

市町名 吉田町

地域学校協働本部	
放課後子供教室等(学習支援・体験活動)	
家庭教育支援	
その他(通学合宿等)	○



実施開始年度 平成 21 年度

立ち上げ経緯 様々な体験活動を通して、地域の子どもをはぐくむ体制づくりを推進するために事業を開始した。

活動名	住吉わっぱ宿			
実施箇所名	住吉会館			
活動の概要・特徴・工夫	目的	体験活動の提供、地域コミュニティの充実		
	開催日数等	2泊3日	実施場所	住吉会館
	参加児童・生徒数	30人程度	ボランティア数	20人程度
	<p>&lt;概要・特徴&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異学年の子どもや異世代の大人との共同生活や体験活動を行う通学合宿を通して、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むとともに、「地域の子どもは地域で育む」体制の推進を図る。</li> </ul> <p>&lt;活動上の工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民が主体となり、活動の計画や準備をしている。</li> <li>子どもたちの主体性を重要視した活動を取り入れている。</li> </ul>			
	連携先	住吉わっぱくらぶ(住吉区地域教育推進協議会)、自治会、子ども会、PTA		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供が様々な体験をすることで、豊かな人間性や社会性の涵養につながっている。</li> <li>地域住民と子供が交流することで、地域コミュニティの充実が図られている。</li> </ul>			
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ボランティアの確保が必要である。</li> <li>ボランティアによる実施のため、財政的援助が必要である。</li> </ul>			
備考				

参考URL

市町名 吉田町

地域学校協働本部	
放課後子供教室等(学習支援・体験活動)	
家庭教育支援	
その他(通学合宿等)	○



実施開始年度 平成 19 年度

立ち上げ経緯 様々な体験活動を通して、地域の子どもをはぐくむ体制づくりを推進するために事業を開始した。

活動名	自彊わくわく宿			
実施箇所名	長源寺			
活動の概要・特徴・工夫	目的	体験活動の提供、地域コミュニティの充実		
	開催日数等	2泊3日	実施場所	長源寺
	参加児童・生徒数	20人程度	ボランティア数	10人程度
	<p>&lt;概要・特徴&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異学年の子どもや異世代の大人との共同生活や体験活動を行う通学合宿を通して、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むとともに、「地域の子どもは地域で育む」体制の推進を図る。</li> </ul> <p>&lt;活動上の工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民が主体となり、活動の計画や準備をしている。</li> <li>子どもたちの主体性を重要視した活動を取り入れている。</li> </ul>			
	連携先	自彊わくわく教室(北区地域教育推進協議会)		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供が様々な体験をすることで、豊かな人間性や社会性の涵養につながっている。</li> <li>地域住民と子供が交流することで、地域コミュニティの充実が図られている。</li> </ul>			
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ボランティアの確保が必要である。</li> <li>ボランティアによる実施のため、財政的援助が必要である。</li> </ul>			
備考				
参考URL				